



## LINKED WITH BOARHILLS & DUNINO

日本語

ホーリートリニティー教会へようこそ  
私たちはスコットランド国教会の長老派教会で  
歴史は12世紀にまでさかのぼります。

この建物を見て歩きながら、ここで神様にお祈りしたたくさんの人々のことを想像してください。

特にお祈りしてほしいことがあれば、*prayer request book*をお使いください。

また、教会の係の者にお気軽にお声かけください。

### ホーリートリニティー教会の沿革

元々の教会は、1140年、大聖堂の東側、港の上にありましたが、1410年にバイアのウィリアム・リンジー卿が、町の中心部に新しく教会を移転するために、サウス・ストリートに180フィートもの土地を与えました。本来は、チャーチスクエア全体が教会墓地でした。

あなたは今、教会の西の端にいます。西側のドアに背を向けて立ち、東側を向いてください。1412年に建設された教会を見ることができます。当時は単純な長方形に、3つの柱間のチャンセル（内陣）と6つの柱間の身廊があり、南の方に通路と、北側に聖具室と礼拝室があったとされています。

当時の建物は、東西に161フィート（約49m）、南北に127フィート（約38.7m）、高さ38フィート（約11.6m）で、座席数は1900ほどでした。

1799年に、この中世の教会はほとんど破壊され、ギャラリーのあるより大きな建物が建てられました。1906年まで使用されていた内部の写真は、オルガンの近くの絵画コレクションで見ることができます。

元の15世紀の建物への修復は1907-1909年に行われました。1899年から1924年にかけての第一担当牧師であったパトリック・マクドナルド・プレイフェア博士が教会の修復計画を立て、1909年に完成しました。この大聖堂を建築した、建築家のマクレガー・チャンバースは、常々「大聖堂を建てたい」と思っており、彼はイギリス各地の大聖堂からデザインを取り入れました。

15世紀の建物が現存する唯一の部分は塔（TOWER）、西の壁の一部、そして柱の大部分です。（柱のうちの1、2本は20世紀の建造物であることに気付かかと思えます。）

塔は市の刑務所として長い間使用されていました。今日、塔には鐘（BELLS）が設置されています。1926年には、15の鐘がプレイフェア博士を記念して設置されました。1938年、1962年、1998年にはさらに鐘が追加され、現在27の鐘からなるカリヨンが誕生しました。これはスコットランドで3番目の大きさです。毎晩夜8時の時報にベルの一つが鳴ります。ホーリー

トリニティーカリオンは塔に收容されており、教会の礼拝の前にセントアンドリュースじゅうに時々鳴り響きます。

西側のステンドグラス（WEST WINDOW）は1914年に信徒の女性たちから寄贈されたもので、有名なステンドグラスの芸術家、ダグラス・ストラチャンの作品の好例です。主題は「女性」です。詳細は他の場所で説明されています。

塔の下の洗礼盤（FONT）は、A.K.Hボイド博士を記念しています。彼は1865-99年の第一牧師で、宣教師、そして作家として、彼の著書と広い交友関係を通じてセントアンドリュースを有名にしました。彫刻が施された天蓋の下には、よき羊飼い、聖ルカ、凱旋の教会（Ecclesia triumphans）、聖ヨハネ、聖アンデレ、聖マタイ、戦う教会（Ecclesia militans）、聖マルコの像があります。

北の壁には、北東の角にある2つを含むストラチャンによるステンドグラスがいくつかあります。よき国王のステンドグラスは、彼の晩年の作品で、1950年に亡くなる直前に完成されました。1910年から1950年にかけて作られた13ものダグラス・ストラチャンのステンドグラスを一つの建物内で一度に楽しめるはこの教会だけです。

左側の小さなドアは託児室と日曜学校につながっています。これらは祈禱室としても使われません。

北側のPLAYFAIR AISLEの壁には、科学者であるセントアンドリュースのプレイフェア卿（1819-1898）と彼の家族の記念碑があります。そのうちの1人は、ホーリートリニティー教会の主任牧師で、その兄弟がセントアンドリュースの市長でした。この通路の大きなステンドグラスはジェームズ・パウエルによるものです。これらは古い聖歌の「ベネディツィテ・オムニア・オペラ」（3人の若者のカンティクム）を描いたものです。旧約聖書の登場人物である「主のしもべ」と「聖なる謙虚な心の人々」がいます。このステンドグラスには、自然界からのシーンも描かれています。「雷と雲」、「海と洪水」、「空の鳥」、「獣と牛」。これらは「主の天使たち」に囲まれています。

説教壇（PULPIT）も、ボイド博士を記念した物です。ベースはアイオナ大理石で、上部の柱とパネルはオニキスとアラバスターです。盾には、歴代のスコットランド教会総会の議長を務めていた教会の牧師たちのイニシャルが入っています。全部で10あり、最初のもは1570年のロバート・ポンドで、最後のもは1891年のBoyd博士自身です。

内陣（CHANCEL）はアイオナ大理石で舗装されています。聖体拝領テーブルと牧師席に向かって見える右側と左側には、市議会と大学の指定席があります。テーブルの両側にはスコットランド国教会議会の席があります。牧師席には、福音書の4つのシンボル、ライオン、男、雄牛、鷲、そして本を持った4人の天使の像が彫られています。北の席には平和を表す鳩と光を表すトーチがあり、南にはトランペットと聖霊の言葉があります。

鏡を使って天井のボス（つまみ）をご覧ください。詳細は他の場所で説明されています。

オルガン（ORGAN）は、1966年にダラムのハリソン&ハリソンによって建てられた壮大な3つの鍵盤からなる楽器で、間違いなくエジンバラの北のスコットランド東部で最も素晴らしい教会のオルガンです。楽器の多くの属性の中でユニークな「ボビー・ジョーンズボンバード」、ファンファーレトランペット（4フィート、8フィートと16フィート、合唱団による演奏）の部門とペダル32フィートのコントラです。ボンバードはゴルフ、ロバート（ボビー）・タイア・ジョーンズを追悼して夫人メアリー・ジョーンズによって寄贈されたものです。オルガンは教会の礼拝の音楽の中でも特に重要な役割を果たしており、特にリメンバラ

ンス・サンデー（戦没者記念日）や、セント・アンドリュースデー（11月30日）、毎年のゴルフサービス、そして大学のキャロル・サービスなどの大規模な市民礼拝でも重要な役割を果たしています。

その優れた音響特性により、ホーリートリニティー教会はオルガンのリサイタルにとって重要な会場であり、合唱や器楽のコンサートでも重要な役割を果たしています。このオルガンは教育的な役割も果たしており、セントアンドリュース大学の「教会音楽」のコースにも使用されています。毎年行われるセントアンドリュース大学オルガンサマースクールや、オルガン学生（ホーリートリニティーのオルガンスカラーを含む）の指導にも使われています。オルガンはまた、5人のホーリートリニティー合唱団スカラーの教育にも貢献しています。オルガンの修復とアップグレードは2011年に行われました。

ギャラリー（PICTURE GALLERY）には、1412年以來の教会の歴史を網羅する絵画や写真が展示されています。特に興味深いのは、1900年の教会の写真と、1907年から1909年にかけて撮影された部分的に破壊された教会です。

右に移動しますと、礼拝の間に休憩したり、小さな子供たちが遊んだりできる場所があります。

東側のステンドグラス（EAST WINDOW）は、現代のステンドグラスの傑作で、テーマはテ・デウム（Te Deum、我ら神であるあなたを讃えん）です。20フィート（約6.1m）の高さのランセットライトは、下から上へ「地上の崇拜者」、「預言者、殉教者と使徒」と「天使と大天使」を示す3つの層に分けられます。

同じくストラチャンによる次のステンドグラスは、6つのイエスの奇跡を描いています。

次はハンターメモリアル・アイル（HUNTER MEMORIAL AISLE）です。これは当初の建築計画の一部ではありませんでしたが、1909年の修復の際に損失したのギャラリーを補うために造られました。通路の装飾はキリストの生涯からの場面を示しています。キリスト降誕、洗礼、ゲッセマネとはりつけ。これらのステンドグラスは若くして亡くなった才能あるルイス・デイビスによるものです。この通路の柱とコーベルの彫刻は特に豊かです。一つの柱には「神の装甲」の部分が表現され、天井のポス（つまみ）には、聖書の中でイエスに与えられた18の名前が表現されています。

第二次世界大戦の後、戦争記念廟と銀色の追悼の書（BOOK OF REMEMBRANCE）が追加され、通路には美しいスクリーン、ポーチ、そして家具がつけられました。これらはすべて教会の信者や友人への追悼品です。この通路からは座席が撤去され、現在では礼拝、集会、プレイグループ、そして癒しのサービスなどに使われています。ハンターメモリアルの外にある庭園には、2012年6月にエリザベス女王のダイヤモンド・ジュビリー（即位60周年）を祝して植樹された、エリザベス2世の薔薇が15本あります。

また、新しいものとは対照的に、1500年頃にさかのぼる中世の聖歌隊の席が2つあります。ジェームズ4世と1503-1518年の間セントアンドリュースの大司教だったギャビン・ダンバーの名前が彫られています。またこちらには、有罪者が罪を懺悔し、刑を言い渡されるための悔い改めの席があります。

SHARP AISLEには、セントアンドリュース近くでカヴェナント（宗教運動）によって殺害されたシャープ大司教（1618-1679）の墓と記念碑があります。記念碑はオランダの作品であり、鉄の手すりは現代のものです。これらは1681年に彼の息子、スコットクレイグのウィリアム・シャープ卿によって建てられ、エジンバラの司教ジョン・パターソンが彼の葬儀で説教をし、ダンケルド司教のアンドリュー・ブルースが墓の碑文を書きました。

SHARP AISLEの大きな窓は、レジナルド・ホールワードによって設計され、左から右に、最初の3つのライトでキリストの復活を、そして最後の3つではキリストの昇天を示しています。10個のはめ込みの彫刻では、復活と昇天の原則と地上と天国との調和を引き出す主題を示しています。

通路の西壁には1914 - 1918年の戦争記念館があります。第一次世界大戦で亡くなった人々を追悼するため、18のステンドグラスの高窓（CLERESTORY）には、12のスコットランド歩兵連隊、イギリス海軍、イギリス軍砲兵、イギリス軍エンジニア、イギリス空軍、イギリス陸軍医療軍団の記事が描かれています。これらのステンドグラスは、ダグラス・ストラチャンの兄弟であるアレキサンダー・ストラチャンによるものです。

教会を出るとき、西側の壁にあるゴルファー、トム・モリスへの記念碑に気づいてください。彼はこの教会のメンバーでした。他にもホーリートリニティー教会に縁のある人々に関する展示もあります。

教会の出入り口には、偉大な改革者であるジョン・ノックスを記念したJOHN KNOX PORCHがあります。ノックスは1547年にこの教会で公に最初の説教をしました。彼の最後の説教もこの教会だったかもしれません。1559年6月11日、スコットランドでの宗教改革が始まるきっかけとなるノックスの説教は、実際はセントアンドリュース大聖堂ではなく、この教会で行われたのです。

ポーチの碑文には、「この町と教会で、説教者の尊厳が神のみ言葉によって始まった」と書かれています。ノックスは1572年8月17日、彼の死の3ヶ月前にセントアンドリュースに別れを告げました。

古代の教会のポーチは同じ場所にあり、その上にはその週の宿直の牧師が過ごしたり、聖職者の集会が開かれたりした部屋がありました。ジェームズ6世は、1617年7月11日にスコットランドの彼の王国を訪問したときこのポーチに立ち、アンドリュー・ブルースによってラテン語による歓迎を受けました。

教会の墓地を出ると、春にはカルバリー（キリストの磔の像）とセントアンドリュースの十字架の形に芝生のクロックアスが植えられているのが見えるでしょう。教会の入口の前にあるバラは、ロータリークラブ100周年を記念して、2004年にセント・アンドリュース・キリーモントのロータリークラブによって植えられた贈り物です。ノックス・ポーチの右側には、1947 - 2001年の牧師であるチャールズ・アーマーを記念したベンチがあります。彼は、スコットランド国教会で最も長く54年間も牧師として奉仕した後、2001年に引退しました。

また、左側には1961 - 2004年に教会役員を務めたハリー・イーグルを記念したベンチがあります。アーチを通り過ぎると、長老兼教会役員だったモーリス・ウィルソンを記念して2011年に改装された灯籠があります。

ホーリー トリニティー教会には日曜礼拝が1回あります。午前11時15分に伝統的な礼拝が行われ、その後コーヒーと紅茶が提供されます。

**ホーリートリニティー教会を訪問していただきありがとうございます**

**私たちのウェブサイト[www.holyt.co.uk](http://www.holyt.co.uk)をぜひご覧ください**